

専念寺通信

専念寺通信

六月号 (NO. 82)

六月に入っても、例年より梅雨入りは遅いようです。みなさま、おかわりなくお過ごしでいらっしゃいますか?『通信』6月号をお届けいたします。

☆施餓鬼会法要

雨に見舞われた昨年とうってかわって、今年はおかげさまで快晴に恵まれ、5月27日、日曜日に施餓鬼会法要をとりおこなうことができました。ことしは、185名の檀家さまをお迎えしました。浄土宗東京教区寺院の住職8名と、当山、専念寺住職の読経は、定刻通り、午前11時に始まりました。本堂、テント席、そして入りきれない檀家さまは書院で、法要に参加なさいました。約40分の法要のあと、「同唱十念」を声をあわせてとなえ、無事、ことしのお施餓鬼は終了しました。お弁当を召し上がる檀家さま、持ち帰られる檀家さま、一年に一度、専念寺のすべての檀家さまが一同に会される日です。みなさまがそれぞれの墓所に、あらかじめ申し込まれたお塔婆をたてられお参りなさいます。私共は最後に、欠席なされた檀家さまのお塔婆をおたてします。郵便配達の人になったような気持ちで、墓所にお届けします。お施餓鬼の日の墓地は、どこもどこも、みごとな花にいろどられた本当に美しい場所になります。先祖を思われるみなさまのお気持ちがかたちになって、しみじみと美しいのです。

準備に約一ヶ月を費やし、半日くらいで終わる、年に一度の、にぎやかな大法要でした。

☆新しい墓所区画のお知らせ

専念寺の墓所は土地の広さが限られているため、新規のお申し込みをお

受けできない状態が続いておりました。今年に入りまして、かなり古い天保の時代の墓石、或いは、すでに公共霊園などに移られた檀家さまの墓所の跡、などなどを整理したところ、いくつかの区画が確保できました。墓地の中の白い線の引いてある部分がそれです。既にご予約も入っておりますが、もしもご希望がございましたら、檀家さまのお身内、お知り合いを優先させていただきたく、ご案内申し上げます。先日、初めて、新聞の折込広告を試してみました。応募してくださるかたも多いのですが、一生のお付き合いになる大切な檀家さまです。慎重に進めて参りたいと思っております。ご質問などございましたら、いつでも専念寺までお電話ください。墓石に関して、新しく専門の業者さんをお願いしましたので、墓石のかた

ちも従来の伝統的なものから、ご本人の個性を出したオリジナルなものまで、かなりご自由に選んでいただくことができました。都内の墓所もだんだんと数が限られ貴重なものとなってきております。私共もこれからも引き続き、みなさまのおちからになれるよう、しっかりと法灯をまもって参りたいと思っております。

平成19年6月1日

大黒

